

JFN ASSOCIATION



JFN 特別加盟局
Koror, Republic of Palau96940

パラオ共和国
「エコパラダイス FM」

新放送サービス「i-dio」 P2
「i-dio」2016年7月グランドオープン！
東海地区でも放送開始！

セールス連携の強化 P4
JFNネットワークの強みを活かした、各局発のセールス事例

FM滋賀 FM愛媛 FM石川

JFNネットワークのポジショニングの明確化 P6
大学生ターゲット「JFN学生ラジオCMコンテスト」との連携策

FM山形 FM岡山 FM鹿児島 FM沖縄

JFN賞2016 P8

CMセミナー 電波と勇気と想像力 P12

TOKYO FM& JFN present
EARTH×HEART LIVE 2016 P13

JFN PARK 祝・開局記念 P14

新社長紹介 熊本募金報告 P15

▶ 新放送サービス

2016年7月 グランドオープン!



東海地区でも放送開始!

第4次産業革命とも言われるIoT／ビッグデータの時代が本格的に始まり、今後、社会経済システムに大きな変革をもたらしていきます。あらゆるものがネットワークと繋がり、膨大なデータを利活用した新たな価値やサービスが創造されていく時代の到来です。メディアも、ビッグデータと無縁ではられません。情報通信の大革命時代を生き抜いていくためには、新たなビジネスの戦略を立て、実行する事が不可欠です。そうしたチャレンジの一つがV-Lowマルチメディア放送「i-dio」です。7月1日より福岡、東京、大阪でグランドオープンし、東海地区(名古屋・三重・岐阜・静岡の一部)でも放送が始まりました。今号では、まず「i-dio」の最新動向をご紹介します。

LATEST NEWS //

TOKYO FM 執行役員 マルチメディア放送事業本部長 土屋正巳

i-dio本格始動! 関連アプリも続々

V-Lowマルチメディア放送「i-dio(アイディオ)」のサービスが2016年7月1日(金)朝5時より、福岡、東京、大阪でグランドオープンし、また同日、東海地区(名古屋・三重・岐阜の一部)でのプレ放送が開始されました。これにあわせ3月のプレオープン時にも実施しました「i-dio」の放送をお手持ちのスマートフォンで受信できる「i-dio Wi-Fiチューナー」の無料モニターを、4エリア(東海・東京・大阪・福岡)で追加募集いたしました。また、i-dioの主要CP(コンテンツプロバイダー)であるTOKYO SMARTCASTでは、このグランドオープンに合わせて

フラッグシップチャンネルである「TS ONE」に新番組を投入し更にパワーアップしています。更に同じく主要CPのアマネク・テレマティクスデザインでも、7月15日より、クルマの安全とドライバーの安心、そしてドライブの楽しみを最大化する「アマネクチャンネル」の本放送をスタートしました。またそれぞれのCPの放送コンテンツを最大限に楽しめる多彩な専用アプリも登場しています。これらアプリには、受信エリア外の場所でも放送が楽しめるインターネット受信モードが搭載され、どなたでも今すぐi-dioのサービスが楽しめるようになりました。



多彩な受信アプリが登場! インターネット受信モード搭載で、専用チューナーなしでもご利用できます。

 [i-dioアプリ] 7月1日 バージョン2.0をリリース
(iOS/Android: 無料) 提供元: 株式会社VIP/ジグノシステムジャパン株式会社

 [TS PLAY] 6月28日リリース
(iOS/Android: 無料) 提供元: TOKYO SMARTCAST株式会社

 [Amanekチャンネル] 7月15日予定
(iOS/Android: 無料) 提供元: 株式会社アマネク・テレマティクスデザイン



TOKYO SMARTCAST「TS ONE」に5つの新番組アプリ連携で、コンテンツもパワーアップ!

次世代を担う10組のアーティストが集結する「MUSIC ARROWS」、若村麻由美のMusic Flowerなど5番組が新たにスタート!さらに、「TS PLAY」アプリでは、気に入った楽曲の即時購入やクリップ機能、番組キュレーターによるレビュー表示などがスムーズに行え、番組ごとの掲示板やWEBマガジン形式でのアーカイブといっ

たコンテンツサービスが始まりました。また、楽天株式会社との協力により新たな放送チャンネル「Crimson FM」(クリムゾンエフエム)もスタートしました。同チャンネルは、インターネットラジオ配信プラットフォーム「Rakuten.FM」を通じて同時再送信されます。



アマネク・テレマティクスデザイン「アマネクチャンネル」日本気象協会と“Amanekモニター”を共同開発!

アマネク・テレマティクスデザインでは、「空からドライバーを見守る」ために、業界初のAmanekオリジナルモニターを日本気象協会と共同開発しました。エリア天気予報や、道路混雑状況、観光スポット情報など運転に必要な情報に加え、Twitter

から投稿されたリスナーの声も地図上に重ね合わせることができ、ナビゲーターはこのAmanekオリジナルモニターを見ながら、気象情報と道路状況を重ね合わせ、ドライバーに刻々と変化する運転環境をお伝えします。



TRANSJAPAN 中日本マルチメディア放送株式会社のとりくみ

中日本マルチメディア放送は、太平洋側から日本海側まで日本を縦断する7県をサービスエリアとしていることをイメージして、ニックネームを「TRANSJAPAN」とし、7月1日からプレ放送、8月1日より本放送を開始しました。現在のローカルチャンネルは、@FMのサイマル放送をベースにブロック内の7局が制作する番組で編成される「TRAN・Jチャンネル」を放送していますが、今後はマルチメディア放送の特徴を活かし、V-ALERT機能とも連動し地域とつながる番組にチャレンジしたいと思います。

@FM (FM AICHI) 常務取締役 加藤義智

JFNネットワークの
ポジショニングの明確化

セールス連携の強化

地元における各社の
存在感の向上

各局地元での
売上シェアの拡大

全局黒字化による
健全なネットワーク形成

放送業界を取り巻く環境が大きく変化し、メディア再編成も取り沙汰される中においては、リスナーや広告主の皆様には選ばれる、より強固なJFNネットワークを作り上げていく事が重要です。私共のテーマである「JFNネットワークのポジショニングの明確化」、「セールス連携の強化」、「地元における各社の存在感の向上」、「各局地元での売上シェアの拡大」、「全局黒字化による健全なネットワーク形成」を実現し、JFNはM1・F1層の共感を集めている最良最強のメディアであるとの存在感を打ち出して参りたいと思います。今号では、このうち「セールス連携の強化」と「JFNネットワークのポジショニングの明確化」における各社の取り組みをご紹介します。

「セールス連携の強化」

本テーマは、営業委員会や営業責任者会議等の場で、一貫通であるJFNネットワークの強みを活かすセールス手法として、各局発のフルネット企画、並びにブロック企画に積極的に取り組んでいく事が話し合われました。今期上期の事例を中心にをご紹介します。

JFNネットワークの強みを活かした、各局発のセールス事例

CASE 01

各局発フルネット企画：
e-radio FM滋賀×
TOKYO FM共同制作

「千早ぶる～かるた女子の青春～」

漫画「ちはやふる」の大ヒットにより脚光を浴びている「競技かるた」。番組では、かるたの甲子園「全国高校かるた選手権大会」が行われている近江神宮の禰宜(ねぎ)・岩崎

謙二さんに、百人一首かるたの歴史や競技かるたが生まれるまで、さらに毎年熱戦が繰り広げられるかるた大会のお話を伺いました。また、滋賀県で競技かるたが盛んな「膳所(ぜぜ)高校かるた班」の練習にも潜入。現役かるた女子の熱い想いを伝えました。ナビゲーターは、映画「ちはやふる」で、かるたクイーン・若宮詩暢を演じた女優の松岡茉優さん。映画の撮影秘話だけでなく、実際に競技かるたを経験したからこそ語れる「競技かるたの世界観」を存分に披露してくれました。放送にあたり、近江神宮をはじめ、時計、眼鏡、近江タクシーなど、県内の様々な企業にご協賛いただきました。

FM滋賀
東京支社長 坂井 安代

FM滋賀

CASE 02

FM愛媛

ブロックネット企画：
中国・四国6局ネット 太陽石油

「SOLATOあした、どこ行く?」



気候温暖で穏やかな瀬戸内は、瀬戸大橋やしまなみ海道などを利用することで日帰りのお出かけも可能なエリア。そして宮崎は、日南海岸、高千穂峡など人気のスポットが沢山!という6局の英知を集結し、長期こと、FM愛媛・FM岡山・川・FM宮崎の6局が各エリアの魅力をお伝えして行く企画ネット番組が今年5月にスタート。週末にリスナーがウキウキしながらクルマでお出かけしたくなるような情報を、毎週

FM愛媛
東京支社長 長澤 諭

CASE 03

FM石川

ブロックネット企画：
北陸3局ネット クロダハウス

「しあわせ物語」



FM石川で2014年10月にスタートした「クロダハウス presents しあわせ物語」。スポンサーの企業ポリシー「素晴らしい人生は素敵な住まいから生まれる。」を伝えるべく、実話に基づいて、夢のマイホームを手に入れるまでの物語の一端を紹介。「クロダハウス」での家づくりを通じて手に入れた「しあわせ」を「おすそわけ」して、クライアントの知名度アップと商品への興味につなげています。クライアントは、北

FM石川
営業部長 森井 桂



「JFNネットワークのポジショニングの明確化」

大学生ターゲット「JFN学生ラジオCMコンテスト」との連携策

M1・F1層の共感を集める最良最強メディアの存在感

CASE 01

FM山形

東北芸術工科大学の
学生が企画制作する
特別番組等を通じての連携展開



Rhythm Station FM山形では、東北芸術工科大学の企画構想学科と、ゼミナールを兼ねた、学生が企画・制作する特別番組などで、2014年から連携を深めてきました。3年目の今年は、「FM山形が大学生と繋がっている」というイメージが浸透。JFN学生ラジオCMコンテストの応募作品70本うち、40本がこの大学の学生からでした。全国審査では同大学1年生の作品が優秀賞受賞という快挙を達成。それがきっかけで、大学からオープンキャンパスのワークショップとして、弊社にラ

ジオCMについての特別講義の依頼もありました。大学との連携は、単なる大学生リスナーの拡大だけでなく、今の若者達の「本音や気質」を知ることができ、それは、これからのラジオの進むべき方向性に、大きなヒントを与えてくれます。

FM山形
編成制作部部長 片岡 聡

CASE 02

FM岡山

岡山商科大学提供の
夏期限定コーナーの継続展開



岡山商科大学とは、2010年に夏期限定コーナーをスタートして以来、7年のお付き合いになります。朝の通勤時間帯に大学をPRするコーナーを放送し、高校生はもとより社会人に大学のブランディングを図りたいとの思いから始まりました。その後、「学生ラジオCMコンテスト」を案内したところ、経営学部の教授が毎年ゼミの学生に案内され、CMコピーを応募してくださいました。今回の「優秀賞」受賞は、まさに長年の取り組みが実を結んだ結果といえます。受賞をきっかけに、

大学からFM岡山DJによる講義依頼を受けるなど、通常コーナー以外の広がり生まれています。今後も大学生がFMラジオに親しむ機会を多く作れるよう今回の受賞を活かしたいと考えます。

FM岡山
営業部主任 中島 智美

CASE 03

FM鹿児島

鹿児島大学、鹿児島女子短期大学、
鹿児島キャリアデザイン専門学校に
おけるCM制作授業展開



FM鹿児島では、県内の大学、短大、専門学校をまわり、「ラジオCMを作る」事を授業コンテンツにし、毎年4月から5月にかけて、学校周りをしております。鹿児島大学を例にあげると、法文学部メディア科の50名のみなさんと一緒に、過去のACCのCMを聴き、ラジオCMに興味をもってもらう。また、自分の学校のストロングポイントを見つけ、ラジオCMとして構成していく。生徒は必ず一人1本ラジオCMのコピーを書き、授業担当者が推敲、それを学生ラジオCMコンテストに提出す

るまでが、授業の一環となっています。今年で4年目になりますが、この授業のおかげで、担当のラジオCM熟と共に、KEYNOTEでのプレゼンテーションが上達しております。

FM鹿児島
営業部課長代理 長友 翼

CASE 04

FM沖縄

専修学校インターナショナル
デザインアカデミーの学生を招いての
局舎内や生放送見学、
スタジオでのCM収録等の体験展開



我々は、開始時からクリエイター系専門学校の先生方へ直接、協力依頼をしてきました。授業の一環として取り組んでくれる学校もあり、また「ラジオ好き」の先生から「学生にラジオを知ってもらうためスタジオ見学やラジオCMについての講義をしてほしい」などの要請も来るようになりました。中でもインターナショナルデザインアカデミーさんとは毎年スタジオ見学を行う良い関係を築けており、ここ数年は「学生ラジオCMコンテスト」九州ブロック賞の常連校になっています。ラジオCM

を実際に聴いてその面白さに初めて気づく学生も多く、「ラジオの届かない世代」にラジオを届ける方法として、ネットやアプリ以外に、こういうアナログなやり方も時には有効かもしれないと思ったりします。

FM沖縄
放送制作部課長 大田 判

JFN賞 2016

30周年を迎えた「JFN賞2016」各賞決定!

今年30周年を迎えた「JFN賞2016」。その表彰式が、7月21日にTOKYO FMホールで行われました。当日は弘兼憲史さん、谷山雅計さん、箭内道彦さんによる記念シンポジウムを開催しラジオCMの未来を探りました。また「CM大賞」には、FM北海道制作「LOVE SNOW HOKKAIDO『雪の音』」が、JFN加盟各社が制作する統一部門「日産自動車賞」には、広島FMの「回転寿司」が選出されました。5回目を迎える「JFN学生ラジオCMコンテスト2016」では、淑徳大学の中里玲奈さんが最優秀賞を受賞しました。

CM部門

JFN賞・CM部門は、年間にJFN加盟各局が自社で企画または制作、放送したCMから選定されます。今年はエントリー総数120本の中から、各賞が決定しました。

大賞 LOVE SNOW HOKKAIDO 『雪の音』 FM北海道
(北海道道協会 / 50秒)

第1部門 最優秀賞 ネットヨタ岡山 『いまから帰ります』 FM岡山
(ネットヨタ岡山株 / 20秒) ※20秒以内(エントリー数=60本)

第2部門 最優秀賞 「父の視点」 TOKYO FM
(日本生命保険相互会社 / 95秒) ※21秒以上(エントリー数=22本)

◆ 統一部門 日産自動車賞

「回転寿司」 (日産自動車(株) / 60秒)
エントリー数 60秒=38社38本

◆ 制作者審査員賞

「父の視点」 (日本生命保険相互会社 / 95秒)

◆ 弘兼憲史賞

「家族の秘密」 (松下仏壇店 / 20秒)

◆ 谷山雅計賞

「今日のお寺の掲示板
 『大きな声は聞こえるが』」 (西本願寺 山口教区山口教務所 / 20秒)

◆ 箭内道彦賞

「それもまた」 (味千拉麺 / 20秒)

広島FM

TOKYO FM

FM熊本

FM山口

FM熊本

◆ 奨励賞 地域ブロック賞

北海道・東北 「マナーアップキャンペーン エスカレーター」 FM仙台
(仙市交通局 / 20秒)

関東・甲信越・静岡 「徹底的に」 K-mix
(朝ラビアンローゼ / 20秒)

中部・北陸 「東京へは福井の空の玄関口小松空港からアラサー女子」 FM福井
(日本航空 / 40秒)

近畿・中国・四国 「兵庫県警 Kiss FM KOBE 振り込め詐欺防止キャンペーン40秒啓発スポットCM架空請求詐欺」 Kiss FM KOBE
(兵庫県警 / 40秒)

九州・沖縄 「私の悩み」 FM鹿児島
(さつま無双 / 60秒)



JFN賞30周年記念シンポジウム

「30年は30分で語れないクロストーク」

良いCMの概念は変わっていないものの、広告主やメディア環境、リスナーの聴取環境は変化しています。これからのラジオとはどうあればいいのでしょうか。パネラーのお三方に今後のラジオCMの在るべき姿を聞いていきました。

谷山さんは「基本的には人間の喜怒哀楽に語りかけていくような仕事なので、昔面白かったものが完全につまらなくなったり、昔泣けていたものが急に笑えるようになったりという変化は意外にない。32年間コピーライターをやっているが、言葉の使い方はそんなに変わらない」とし、箭内さんは、「ラジオをオールメディアと呼ぶ人が時々いるが、僕は逆に最先端だと思っている。社会は想像力を取り戻そうとし始めたと思う。その時に一番想像力の近くにある、そして人と人を繋ぐ力があるのはラジオだ」と語りました。弘兼さんは漫画家という仕事柄、毎日最低でも6時間以上のラジオを聴くとのこと。「面白いラジオCMが好き。ラジオは心の友です」と語りつつ、「紙媒体は心配だ」と苦笑する場面もありました。またこの道40年の林屋さんが、クライアントの思いをくみ取るには経験が必要だとし、「せめて10年は、1人の方にCMに対する責任を持たせて育てていただきたい」と、各局の経営者へ語りかけました。



パネラー：特別審査員長・弘兼憲史さん(左から2番目)、特別審査員・谷山雅計さん(中央)、箭内道彦さん(右) 司会：TOKYO FM営業局専任局長・林屋創一さん(左)

JFN学生ラジオCMコンテスト2016

全国の学生が、自身の学校をPRするラジオCMコピーを競う「JFN学生ラジオCMコンテスト2016」。5回目の今回は、淑徳大学の中里玲奈さんが最優秀賞を、東北芸術工科大学の奥稔里さん、岡山商科大学の東森郁弥さんが優秀賞をそれぞれ受賞しました。当日はドレスアップした皆さんが、緊張した面持ちで表彰式に臨みました。

左から、東森さん、中里さん、奥さん



最優秀賞

中里 玲奈さん

学生のリアルを伝えたい。学生100%にこだわったCMです。脚本、演出、ナレーションをしてみただけで表現する無限の可能性を感じました。改めて放送の面白さを感じ、地域に密着したアナウンサーという目標を叶えたいと思います。

淑徳大学 人文学部表現学科放送コース
 中里玲奈

優秀賞

奥 稔里さん

普段何気なく聞いていたラジオCMでしたが、40秒という時間で伝えたいことをまとめる難しさや大変さを学ぶことができました。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

東北芸術工科大学
 デザイン工学部グラフィックデザイン学科
 奥 稔里

東森 郁弥さん

このコンテストのおかげでアイデアを評価されるという喜びとラジオCMを作るという楽しさを実感できました。普段では経験できないようなことをたくさん経験させてもらい、素晴らしい機会を与えてもらったことに感謝しています。

岡山商科大学 経営学部商学科
 東森郁弥

審査員講評

私は色々な企業から「漫画で説明してください」と依頼を受けますが、その際、企業の方々は「これだけを入れてほしい」という情報を沢山持ってきます。それでは吹き出しばかりで漫画が入らなくなってしまうので、そういう時には「読みやすくするために省きます。骨子の部分だけにしたら、皆さんが読んでくれますよ」と説得しています。ラジオCMも同じで、スポンサーからの要望はあると思いますが、「わかりやすくするために省きます」と言う勇気を持って、クリエイティブなCMを作ってくださいと思います。

特別審査員長 弘兼憲史

今回のグランプリに選ばれたFM北海道制作「LOVE SNOW HOKKAIDO『雪の音』」は、ストーリーとしての完成度で勝負するよりも、リアルな雪の音を比較して「行ってみたいな」と本当に思わせるところを狙っていました。ラジオCMにはその年その年の傾向が特に明確にあるわけではないのですが、今年に関してはこの作品のもつリアルな力というものを高く評価したいと個人的に思いました。

特別審査員 谷山雅計

JFN賞というのは「ひとりじゃないよ」ということを確認する場だなぁと見ています。頑張っているのは自分だけじゃないんだ。大変なもの自分たちだけじゃない。ラジオが好きなのも自分たちだけじゃない。「切磋琢磨」という言葉が、相手を倒したり否定したりすることではなく、みんなで幸せになっていく。そういう場なので、とっても大好きな審査会です。もし来年も呼んでいただけたらいいな。また皆さんがこの1年で作って来られる成果を味わわせていただくことを楽しみにしています。

特別審査員 箭内道彦

企画部門

JFN賞・企画部門は、年間の放送・事業・営業等の活動事例の中から、JFN賞選考委員会によって選定されるものです。今年度はエントリー 22社41件の中から、各賞が決定しました。



FM仙台・TOKYO FM 共同制作

大賞 ライターのつぶやき ～河北新報の5年～

東日本大震災から5年。ラジオは震災を生き延びた人々の声を伝え続けてきたが、2万人近い犠牲者の方が語ることができたら、何を伝えたいだろうか？という想いから生まれたラジオドラマ。震災から5年目を迎える成人の日に、宮城県女川で新聞販売店を営む男のもとに、男が無くなったと思っていたライターを謎の少女が現れ手渡し、誰にも言えない秘密を打ち明ける。成人の日に起きた、たった1日の奇跡の物語を、心に沁みるラジオドラマで描いた。

受賞コメント

震災以来被災地では怪談話が多く聞かれます。それは幽霊でも良いから愛している人にもう一度会いたいという願望からかもしれません。今回のドラマは震災によって引き裂かれた20,000あまりのドラマの一つです。私たちは二度と同じ悲劇を起こさない様、震災について語り続けていきたいと思えます。そして私事で恐縮ですが、故郷の女川を題材とした番組に携われたことを幸せに思っています。ありがとうございました。 FM仙台 編成局長 木村祐二

ご支援・ご協力いただいた石巻・女川町の皆さん、被災者に寄り添い、5年間取材を続けられている河北新報の皆さんのおかげです。心から感謝いたします。本当にありがとうございました。 TOKYO FM エグゼクティブ・プランナー 延江浩

FM北海道

優秀賞 北海道と東北を繋ぐ三つの 「北海道新幹線開業記念番組」

今年3月、北海道から九州まで新幹線が繋がりひとつになった。新幹線開業は人々の行動に大きな影響を及ぼし、経済効果への期待だけでなく、日本の距離を縮めて生活圏となる。食・地名・言葉を取り上げ、歴史的共通点や文化的相違点を見出すことで、東北・北海道の魅力を伝え、大きな反響を得る放送となった。



@FM (FM AICHI)

優秀賞 ユニリーバCLEARブランド 女性用シャンプー訴求キャンペーン

自局で番組を持つご当地アイドルグループのノベルティグッズプレゼントキャンペーンを特定流通（ドラッグストア）とタイアップして店頭で展開。商品購入・応募促進に向けて、アイドル自身がキャンペーン時に稼働し、流通店舗より中継を行った。さらにスポットCMや番組サイトも連動させてメディアミックス展開を図り、全ての関係者がWin-Winの仕掛けで成功をおさめる企画であった。



FM滋賀

優秀賞 ラジオのエンターテインメント力で商店街を活性化 「笑顔がいっぱい商店街キャンペーン」

滋賀県が実施したプロポーザル「商店街魅力発掘・発信事業」を受託。高齢化が進み、暗いイメージという商店街に対して、県内の商店街を徹底取材して、ベテランDJや地元出身芸人を起用することで、常に笑いを伴う明るい商店街と人の魅力を紹介する番組を演出した。イベントでは地元学生によるものづくり教室、幼稚園から高校生までのプラスバンドなど、地域参加型の内容を盛り込んだ。また、イベントの最後は、事業のテーマソングを制作し皆で感動の大合唱を行うなど、地域密着のラジオができる限りの企画を実施した。



TOKYO FM

特別賞 SCHOOL OF LOCK!×総務省 選挙権年齢が18歳以上に

2016年6月以降の法改正により、選挙権年齢が18歳以上になることを10代に深く啓発することを目的に、SOLと総務省がコラボして、番組や全国でのイベントキャラバンの企画を実施した。選挙の仕組み、政治に参加する事の意味や考え方等について47都道府県で30名規模から300名規模で行ったイベントは、JFN各局の地元でのシンポジウム展開をベースとしたネットワークの機動力を駆使した提案により実現できた。



FM香川

奨励賞 太平洋戦争と三豊 ～埋もれゆく記憶を今、語り継ぐ～

太平洋戦争時、香川県三豊市には、国内でも重要な海軍航空隊の基地がひとつあり、そこから57名もの若者達が特攻に出撃した。託問海軍航空隊や神風特攻隊の関係者・遺族の証言を丁寧に集め、その記憶を次世代へ語り継ぐための特別番組を放送。リアルな証言とともに、特攻に飛び立つ若者の心情をラジオドラマ風に表現し、埋もれゆく記憶を終戦から70年たった今、改めて語り継ぐ内容となった。



FM長崎

奨励賞 被爆70年 sing for tomorrow ～ストレイテナーとつないだ夏～

被爆から70年の長崎。地元出身バンド「ストレイテナー」とともに、先人が繋いできた怒りではない「平和を祈る思い」を「NO～命の跡に咲いた花～」の曲にのせて若い世代に語り歌い継ぐ。地元高校では平和学習の一環としてメンバーと楽曲を合唱し、イベントでは今ここで音楽を楽しむことが出来る喜びを考え、争いのない平和な世界を祈りながらの大合唱となった。



地域賞

地域賞は、各地区に於いて地域への貢献が顕著に見られた実績に対して授与されます。今年はこの5局が受賞しました！

FM新潟
～キャリア教育推進事業・オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト～
おぢやしごと未来塾



FM三重
地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業
～おかげさまACTION!～ FM三重×伊勢市低炭素社会創造協議会



FM山口
新ご当地アイドル創出企画「アイ☆たん」
～オレンジ☆みるふい～ゆ誕生 (CDデビュー)～



FM山陰
島根県自死予防普及啓発事業 こころのうたキャンペーン



FM佐賀
FM佐賀特別番組「Beauty in SAGA～佐賀の美しさに出会う旅～」



CMセミナー2016

～電波と勇気と想像力～



私は25年間名古屋で広告を作っています。名古屋は230万人強の人が住んでいるんですけど、地方都市なんですよね。地方の仕事はお金が本当になんないんです。もう本当にやりくりする「やりクリエイティブ」みたいな感じです。15年前にFM群馬さんと私は出会いました。仕事って出会いから始まるんだなと本当に思うんですけど、遊び心を忘れない永遠の少年みたいな素敵な方と巡り会うことができましてそこから仕事がまりました。私が最初にやった仕事は年間のスローガンを提案しに行くことです。スローガンが決まると、キャンペーンのラジオCMを作る。自分はグラフィックもやるのでポスターとかも作っていました。その年その年で思いがありながら、でも全然固い言葉じゃなくて楽しい言葉をスローガンとして採用いただきました。制作者とラジオ局の関係は、皆さんが少しだけ勇気を持って臨んでいただくと、仕事の中身と濃さが全然変わってくるような気がします。ラジオ局が電波を持っている私たちが想像力を持っているとします。そこに勇気をもらえると、その想像力ってすごく大きくなると思います。皆さんからいただいた勇気で自分たち制作者の背中が押されて、その結果メッセージの球は思ったよりもずっと遠くまで飛んでいくんじゃないかなと思います。その勇気がなかったら、自分はFM群馬さんとの仕事はこんなに長く楽しく続くことはなかったと思います。

Q&A

Q：CMを考える時は、コピーから発想して全体を構成するのですか？

A：もともと自分はコピーライターなので、コピーを中心に考えるクセはあると思います。予算が少ない場合はコピー中心が多いです。素人のような映像でも、コピーさえ決まればCMとして成立するからです。予算が多くエンターテインメントを高めたい場合はコピーだけではダメなので、ストーリーを先に考えます。

Q：歌モノのCMを作る時は、作曲のパートナーがいるのですか？

A：明快にいます。名古屋在住の音楽家・服部孝也さんです。東京でも活躍されていますが、名古屋でDeeStudioというスタジオをかまえていらっしゃいます。言葉は自分が書くのでそれを彼に渡してどんな音楽になるのか、自分も楽しみにしています。

Q：(FM群馬との仕事のやり方について)スローガンが決まる過程を教えてください。

A：年明けに自分がスローガンのコピーを大量に持って行って、FM群馬のみなさんと

どれが面白いか打ち合わせをしました。そこからラジオCMを発想していくというスタンスでした。FM群馬さんから与えられるのではなく、0から仕上げまで一緒にやらせていただきました。



講師：都築徹氏

株式会社電通 中部支社

顧客ビジネス局クリエイティブディレクション部長

クリエイティブ・ディレクター/コピーライター

TOKYO FM & JFN present

EARTH×HEART LIVE 2016

アース・バイ・ハート ライブ 2016

2016年4月20日(水)、東京国際フォーラムホールA 放送：4月22日(金)19:00～21:00

※世界最大級オーディオネットワーク「TuneIn」と連携の多言語情報配信チャネル「TOKYO FM WORLD」でも配信。



「EARTH×HEART LIVE」はTOKYO FMをはじめとするJFN38局が、毎年「アースデー」である4月22日に、世界へ向けて放送している一夜限りのプレミアムライブ。音楽と映像のパワーを通じて、世界の若者達とつながり、ともに地球環境の未来を考えてきました。

今年のメインアクトは、ジャパニーズポップカルチャー最先端アイドルユニットとして海外でも人気のでんぱ組.inc。“でんぱ組.incが地球を救う”というテーマで、大ヒット曲「あした地球がこなごなになっても」でスタート。オーディエンスはテーマカラーのサイリウムを振りながら、お馴染みのコールで応援!会場全体が一体となりました。スペシャルゲストにスチャダラパー、オープニングアクトはLittle Glee Monster。「COP21」が、2020年以降の温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」を採択、「産業革命前からの気温上昇を2度未満に抑える」と目標に掲げました。世界は本気だ! 僕らは「EARTH×HEART LIVE2016」では、常識にとらわれないエコアイデアを募集する「LOVE♥EARTH LAB」を立ち上げ、ラボ所長にスプツニ子!が名乗りを

上げ、世界のシンクタンクからの様々なぶっとびアイデアを紹介しました。更に「世界一貧しい大統領」として知られるホセ・ムヒカ氏も登場。「この地球を何とかしたい!」「大好きな人のために!」「生まれ来る子供達のために」。音声メディアを駆使し、国境・言語を乗り越えて会場と地球の若者が繋がったイベントになりました。

TOKYO FM
エグゼクティブ・プランナー 延江 浩



終演後、ロビーにて熊本地震で被災した方々を支援する「JFNアースコンシャス募金」を実施しました。出演者全員揃っての呼びかけに、列は途切れることなく1時間以上、797,267円の寄付金が集まりました。



ムヒカ氏メッセージ

環境を保護するにはどうしたらいいか。自然は繰り返し恵みを育むメカニズムを持っている。まず地球を感じよう。考えてみよう。違ったやり方がある。生産、分配、モノを大切に。とくに生きるための時間を持つこと。人生を愛すること。形の違う幸福がそれぞれにあり、そのために努力すべきだ。私たちは常に努力しなければならない。人が一人にならないように。いいかい?この世で最悪な貧しさは孤独だ。人は、人のなかで生きていくものだ。環境について考えるとき、一番大切なのは、私たち人間の暮らしそのもの。人間の命を大切に。それが環境について考えるということだ。

JFNPARK

リスナーとの新しいコミュニケーションの形

生活者のインターネット接触が、PCから、スマートフォン、タブレットに移行するという、ライフスタイルの変化を受けて、4月からサービスを開始したのが、コミュニケーション・プラットフォーム・アプリ「JFN PARK」です。各局の皆様のご協力もあり、スタートから半年を経て、アプリのダウンロード数や会員数も順調に伸びています。

8月は夏休みという事で、新規リスナーの獲得強化のために、各ワイド番組を中心に、会員限定のプレゼントキャンペーンを実施。8月末からは、納涼オカルトホラー特別番組として放送し、好評を博したラジオドラマ「師匠シリーズ」を、会員限定で音声配信しました。また10月改編では、「ニコニコ動画」でおなじみのドワンゴと、JFN PARKが完全連動した新番組「ニコラジPARK」もスタート。

10月改編を機に、原則JFNC制作番組の全てが、掲示板の活用をはじめ音声配信や番組発の記事配信などJFN PARKの

各機能を活用した展開を開始していきます。今後は、JFNC制作番組だけにとどまらず、各局様制作の番組との連携を進めていくことで、ネットワーク全体のプラットフォームとして充実させていきたいと考えております。引き続き、ご協力のほどを、よろしくお願い申し上げます。

(株)ジャパンエフエムネットワーク
JFN PARK推進室長兼制作部長 藤原康輔



祝・開局記念!!

祝開局30周年 FM山陰

FM山陰は1986年10月1日に開局し、今年30周年を迎えました。4月1日には、「開局30周年記念YEAR突入記念!スペシャルOneDay!!」と銘打ち、朝から夜まで特別編成を行いました。中でも午後からは国宝松江城隣の松江歴史館において「FRIDAY GOES ON」の公開生放送を全国発信。山陰内外から多くのリスナーに集まっていたいただきました。この後も開局特別番組を続けていく予定です。



FM山陰
放送部長 角 秀一

祝開局20周年 FM滋賀

1996年に琵琶湖のほとりに開局したe-radio FM滋賀は、今年12月に20周年を迎えます。このたび、ステーションキャラクター「e-7」が誕生。名前募集には、700以上の応募がありました。テーマソングと振付ができ、タオルなどのグッズも発売。口癖「ななな〜」と独特の喋り口調が社内外で親しまれています。今後も親しみやすい地元ラジオ局として、滋賀に光をあて20年分の感謝を伝えて参ります。



FM滋賀
編成制作部 関口 舞

新社長紹介

今年就任された新社長のみなさまが、アンケートに答えて下さいました。気になる経営哲学から性格、さらには意外な一面まで、今すぐチェック!

- ① 出身地
- ② 生年月日
- ③ 性格
- ④ 経営哲学

畑中 和俊 代表取締役社長 FM仙台



- ① 宮城県仙台市
- ② 1956年1月24日(水瓶座)
- ③ 我慢強すぎる(家内談)
優しすぎる(同) やり過ぎる(同)
自己認識 子供の頃からなので変えられない!
(本人談)
※因みに「USJ」15周年テーマ: やり過ぎ!
- ④ 自己(自社)の強みを活かす。自分の強み(らしさ)を活かした事業構想を!

自局PR 情報発信型MUSIC STATIONとして、番組・事業・CSRを展開しています。常にリスナーから愛されるFM局をモットーに、感謝と笑顔、そして夢をリスナー、ステイクホルダーと共有できればと思っています。来年、当社35周年を迎えます。RE-BOOOOOOOORNI! お楽しみに!!

久保 雅史 代表取締役社長 広島FM



- ① 広島県広島市
- ② 1945年8月26日
- ③ 明朗で闊達であるが、気が短い面がある。(直ぐ行動する、して頂きたい)
- ④ 誠心誠意で事に当たる

自局PR 地域情報と心地よい音空間の構築。

木村 博史 代表取締役社長 FM北海道



- ① 北海道札幌市
- ② 1954年11月23日(勤労感謝の日)
- ③ 歩くA型
- ④ 「義を明らかにして利を計らず」

自局PR 開局時「北海道にもFMができた」と言ってくれた学生達もまもなく還暦を迎えます。今ではAIR-G' という名も浸透し、60歳まで含めて、北海道で一番支持されるラジオ局です。編成に営業にAIR-ZOOと呼ばれるタレント達を取り揃え、リスナーや、広告主、広告会社様にクイックレスポンスで応えます。

関根 房三 代表取締役社長 FM栃木



- ① 神奈川県川崎市
- ② 1955年2月16日
- ③ 大雑把なところと、細かいところが、適度に(適当に?)共存
- ④ 全ての社員が持てる能力を十二分に発揮し、いつでも、どこでも、県民、企業、団体等、多くの皆様から選ばれるFMラジオ局であり続けることを目指します。

自局PR リスナーとの絆を大切に、リスナーに愛される地域密着のFMラジオ局として、楽しい番組の提供はもちろんのこと、様々なイベントの開催など、栃木県の地域経済や地域文化の振興、そして地方創生に積極的に取り組んでいます。

堂脇 悟 代表取締役社長 FM鹿児島



- ① 鹿児島県霧島市隼人町
- ② 1951年6月26日
- ③ 優柔不断、下戸、内気、シャイ
- ④ 率先垂範、治に居て乱を忘れず、敬天愛人

自局PR 開かれた放送局を目指し、常に地域に役に立つ情報を収集、発信しています。鹿児島の発展のため、婚活パーティーを開き、カップル誕生に力を入れています。

JFN 熊本地震 JFNアースコンシャス募金のご報告

4月14日に発生した平成28年熊本地震に際し多くの皆様から被災者の方々への募金をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。皆様から寄せられた募金総額14,268,557円は、被災地の義援金配分委員会に全額送り、被害に遭われた方々の救済に役立てられます。皆様からの温かいご支援に深く感謝申し上げます。